

住宅街の交差点

軽自動車と出合い頭に衝突、自転車の小6児童重体

< 2015年4月28日 16:51 >

28日午後1時半ごろ、栃木県の住宅街で軽自動車と自転車が出合い頭に衝突した。この事故で、自転車に乗っていた小学6年の男子児童(11)が頭を強く打ち、意識不明の重体。現場は見通しの悪い、入り組んだ形の交差点で、警察は事故の原因を調べている。

<重大事故の増加>

- スピードの出し過ぎによる単独事故や正面衝突事故
- 交差点での歩行者・自転車の巻き込み事故

◆追突・バック事故の根絶

- ・前を走行する車には、適切な車間距離を保ちましょう
- ・交差点付近では早目に減速しましょう
- ・わき見・漫然運転はせず、「危険意識」をもって運転に集中しましょう
- ・バック時は、必ず目で確認し、『安易なバック』はやめましょう

歩行者・自転車・バイクの確認！ 見えたら「先に行かせる」

追突、玉突き事故を防ぐ 交差点手前で止まる時は車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認／よ～し！」

バス運転中に意識失う あわや大事故、乗客ブレーキ

2015/04/28 11:47

京都市内の交差点で3月、停車中の市バスの運転手(33)が突然意識を失ってバスが動き始めたため、乗客の男性がサイドブレーキをかけて停止させていたことが28日、市交通局への取材で分かった。乗客約10人にけがはなかったが、バスは交差点を通過しており、大事故となる可能性もあった。市交通局によると、市バスは3月19日午前9時10分ごろ、交差点で赤信号のため停車していたが、信号が青になったところに運転手がけいれんを起こして意識を失った。足がブレーキから離れ、バスは自動的に前進。異変に気付いた男性が交差点を渡り切った付近でサイドブレーキをかけ、停車させた。

乗客15人けが 観光バス追突、整備状況を聴取へ

2015年4月28日(火)14時11分

静岡県 of 県道交差点で27日夜に起きたツアー客を乗せた大型観光バス同士の追突事故で、病院に搬送された乗客28人のうち15人が首や頭に軽傷を負ったことが28日、警察のまとめで分かった。全員が同日午前までにほかのツアー客と合流したという。同署によると、追突したバスの運転手(65)は同署の事情聴取に対し「ブレーキが効かなかった」などと話しているという。現場は下り坂の緩やかなカーブ。同署は車両の整備状況などについて関係者に事情を聴く方針。

交差点、信号待ちの路線バスに車が追突

2015年4月27日(月)12時30分

26日午後4時45分ごろ、福島県の国道交差点で、会社役員男性(54)の乗用車が路線バスに追突した。バスには運転手男性と乗客3人が乗車していたが、けがはなかった。乗用車の男性にもけがはなかった。警察によると、路線バスは、信号待ちで停止中だった。

午前6時 カーブ曲り切れず、トレーラー横転

運転手、運転席から投げ出され死亡

2015年4月27日(月)9時58分

27日午前6時過ぎ、神奈川県 of 東名高速道路のインターチェンジの出口で、大型トレーラーがガードレールに衝突し横転しました。この事故で、トレーラーを運転していた50代とみられる男性が運転席から投げ出され死亡しました。警察はトレーラーが料金所へ向かう道路の左カーブを曲がりきれなかったとみて事故の原因を調べています。